

牙 X1000

取付け・取扱い説明書/保証書

この度は、自動車用盗難警報装置 キバ (X1000) をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び、取扱い手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みの上、ご使用ください。尚、読み終えた後いつでも見られるよう大切に保管してください。

注意

本製品は、車体への衝撃や人の侵入を検知し警告を行う装置です。車上ねらい、車輛盗難等への防犯効果は多大ですが、防止機ではありません。また、なんらかの手段で盗難警報装置を解除し車輛に被害を与える場合も想定されます。本製品の作動の有無にかかわらず車輛盗難、車上ねらい、車輛へのイタズラ等が発生しても、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。



Ver1.0

ご使用上の注意

ご使用前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。又、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為、誤った取り扱いをすると、生じる恐れのある内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

警告 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を被る可能性があります。

注意 注意を無視した取り扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

警告

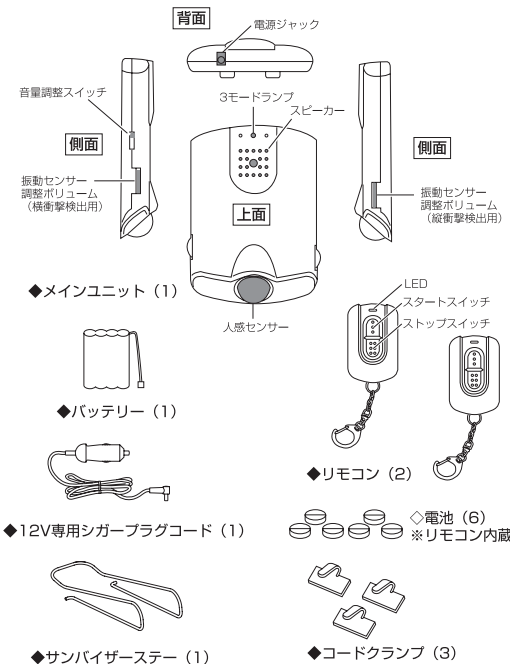
- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。万一見送りは、事故の原因となります。
- 本製品は、運転や修繕の妨げになります。車輛の機能 (エアバック等) の妨げにならない場所に取付けください。事故や修繕の原因となります。
- 本製品が万一破損、故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災、感電、車輛故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 本製品を不用意に人や動物の近くで作動させないでください。聴覚障害になる恐れがあります。

注意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の保証がついています。(ただし、ヒューズ・電池等の消耗品は、保証の対象になりません)
- 保証書には、必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- リモコンに電池を入れる時、ネジにあったプラスドライバーが必要になります。
- 12V車のみ使用可能です。24V車には使用できませんのでご注意ください。
- エンジンをOFFにしてもシガーライターソケットに常時電源が供給されてる車の場合、エンジン停止している時はシガーライターソケットから付属のシガーコードを抜いて下さい。バッテリー上がり原因となります。又、本製品をスタートする前には付属のシガーコードを抜いて下さい。(シガープラグをシガーライターソケットに差し込んだ状態でリモコンが作動しません。)
- ※シガーソケットの無い車や、エンジンを停止してもシガーソケット電圧がOVにならない車はオプションSS-063「電源記録ユニット」を使用して車輛の配線に直接接続することができます。
- 指定の電池以外は使用しないでください。
- 本体やリモコンを直射日光が当たる場所に設置、放置しないで下さい。
- 本製品の取付けは、確実に固定してください。固定が不十分だと誤作動の原因となります。
- 本取付け・取扱い説明書内のイラストは、製品と一部異なる場合があります。
- 本製品を修理・点検依頼された場合、修理期間中は別商品の貸出し (代替品) などのサービスは行っておりません。
- 本製品を修理・点検期間中又は故障などによる作動不良時における車輛盗難、車上狙い、車輛へのイタズラ等が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本リモコンは防水加工されていません。雨、水等のかかる場所や濡れた手でのご操作は避けてください。又、リモコン内部に水分が侵入した場合、故障の原因となり修理不可となる事があります。
- 本製品メインユニットの充電はテスト分の充電がされています。商品の状態 (自然放電等) によっては、始めて使用する時に電池容量不足で作動しない場合がありますので始めて使用する時は必ずメインユニットを充電して下さい。

●備考 「守護神」は、商標登録第2291392号の表示許諾契約を締結しています。

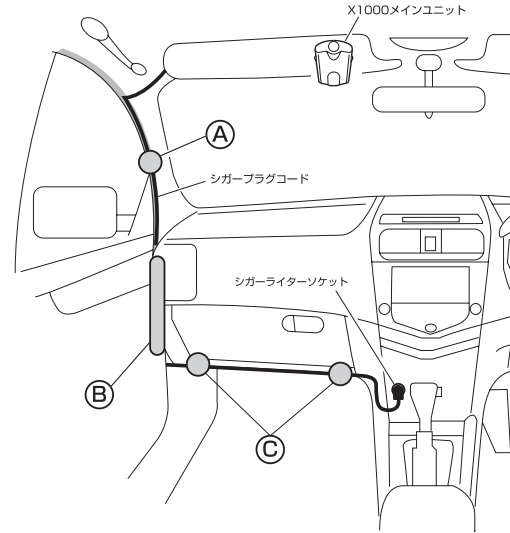
1. セット内容 (各部の名称)



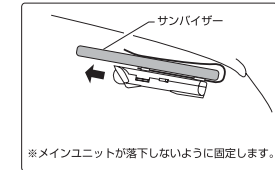
2. メインユニットの取付

※シガーソケットの無い車や、エンジンを停止してもシガーソケット電圧がOVにならない車はオプションSS-063「電源記録ユニット」を使用して車輛の配線に直接接続することができます。

取付全体図

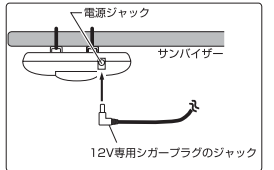


3 本体を助手席側サンバイザー全体図の位置に取付け差し込みます。

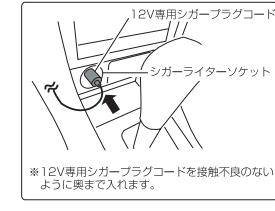


※メインユニットが落下ないように固定します。

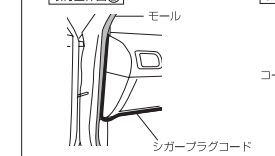
4 12V専用シガープラグのジャック側をメインユニット電源ジャックに接続します。



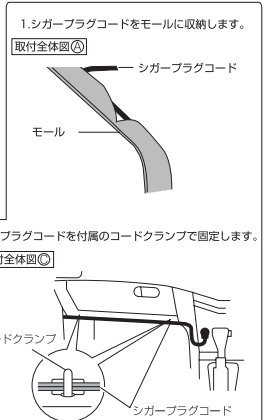
5 12V専用シガープラグコードのプラグ側を車のシガーライターソケットに差し込みます。



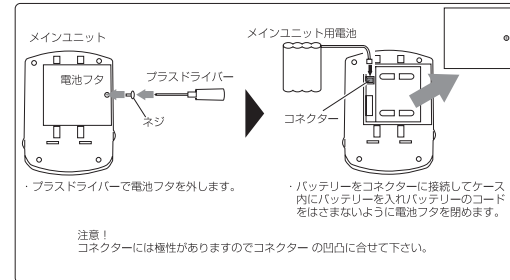
2.シガープラグコードを収納します。



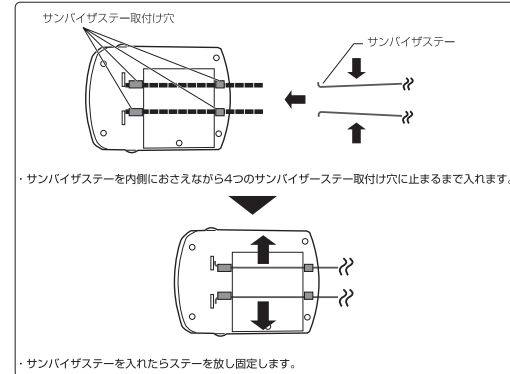
6 接続した12V専用シガープラグの配線を処理します。



1 メインユニットにバッテリーのコネクターを接続してバッテリーをメインユニットに納めます。



2 サンバイザースターをメインユニットに差し込みます。

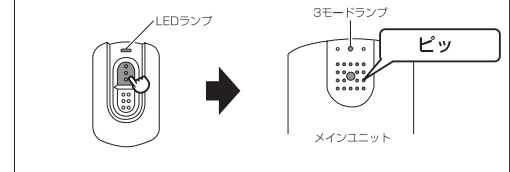


3. 使用方法 (動作確認)

- 取付完了後リモコンでスタート/ストップ動作ができます。必ずエンジン停止状態でリモコン操作を行ってください。
- 本製品メインユニットの充電はテスト分の充電がされています。商品の状態 (自然放電等) によっては、始めて使用する時に電池容量不足で作動しない場合がありますので始めて使用する時は必ずメインユニットを充電して下さい。 [5.メインユニットの充電] を参照

◇セキュリティスタートの方法

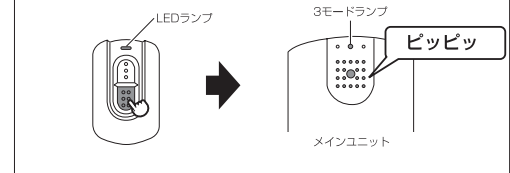
- ・リモコンのスタートボタンを押すとリモコンLEDが点灯しメインユニットから音が鳴り3モードランプが長い間隔で点滅してセキュリティが作動します。



- ※3モードランプ点灯中 (充電中) ・セキュリティ作動中、警報中にリモコンでのスタート操作はできません。
- ・メインユニットの(バッテリー残量)によっては作動しない場合があります。その場合はメインユニットの充電 [5.メインユニットの充電] を行って下さい。

◇セキュリティストップの方法

- ・セキュリティ作動中にリモコンのストップボタンを押すとリモコンLEDが点灯しメインユニットから音が鳴り3モードランプが消灯してセキュリティが停止します。



- ※警報中でもリモコンのストップ操作はできます。
- ・セキュリティが作動していない時、3モードランプ点灯中 (充電中) にリモコンのストップ操作をしてもメインユニットは反応しません。

4. 警報の種類とセンサ…の調整

- 車のボディや窓を叩かれた時や、車内に人の侵入を検出したら本体の内蔵スピーカで警報音を鳴らします。

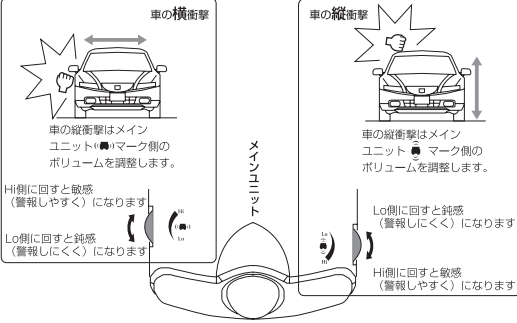
□振動センサー・・・車への衝撃を検出します。



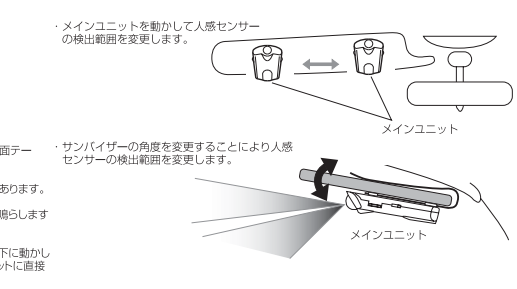
車の窓やボディに衝撃を検出した時にアラーム音を約5秒間鳴らしてメインユニット3モードLEDで威嚇(早い点滅)します。

- 車輛のボディサイズ・車体の構造・取付け位置・振動を与える場所などによって振動センサーの感度は大きく影響します。また感度を高く設定した場合、雷、火花、改造車のマフラー音、大型車輛などの走行時の強い揺れ等に振動センサーが反応してしまふ場合がありますのでご注意ください。
- 車輻のサイズやメインユニットの固定方法によってはセンサーを最大(Hi感度)にしてもセンサーの検出がでなかったり、誤検出場合があります。ご了承下さい。
- センサーの調整で車輻に振動をあてるのにボディのへこみ等に注意して下さい。
- 調整ボリュームは力を加えずにボリューム又はユニットが破損する恐れがありますので注意して下さい。
- 必ずリモコンでセキュリティをOFFにしてから、振動センサーボリュームの調整を行ってください。
- 走行状態によってメインユニットからカチカチ音がする場合がありますが、センサー部が動いている音ですので故障ではありません。

- ◆振動センサーの調整
縦の衝撃と横の衝撃を別々のボリューム調整ができます。環境に応じて調整を行って下さい。



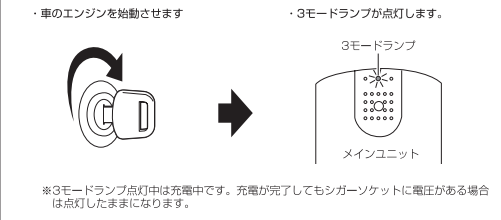
- ◆人感センサーの調整
人感センサーには検出範囲があります。車輻形状に応じて調整を行って下さい。



5. メインユニットの充電

- 車のシガーソケット電源を利用してメインユニット充電電池にエンジン始動中、充電を行いエンジン停止後メインユニットの充電電池で動作します。

◇充電動作



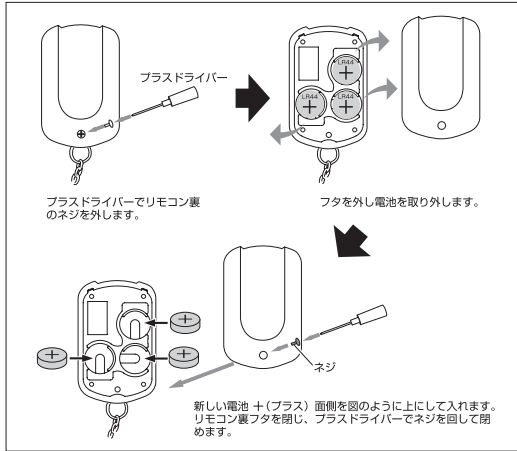
- 3モードランプ点灯中は充電中です。充電が完了してもシガーソケットに電圧がある場合は点灯したままになります。
- ※はじめてお使いになる時は、メインユニットに充電してからお使い下さい。メインユニットに電池残量がないと動作しません。メインユニットに充電をする時はエンジンを始動した状態で電池残量ゼロの状態からフル充電まで約4時間充電が必要です。フル充電で約6日間(無警報状態)連続監視が可能です。
- 短く充電を繰り返して使用している場合(運転時間が短いなど)メインユニットの充電不足で動作しなくなります。その場合はエンジンを始動して充電を行ってください。また車での充電が困難な場合はオプションで家庭用コンセントから充電可能なSS-085「AC100V専用充電器」を使用して下さい。
- エンジンを停止しても3モードランプが消灯しない時は、車のシガーソケットに電圧がOVにならない車輻(外車など)ですので、車輻停止時はシガーコードを抜いていただき、オプションSS-085「電源配線ユニット」で車輻ユニットに直接接続して下さい。エンジン停止状態で3モードランプが点灯したままにする場合が原因になります。
- 充電中メインユニットから音がする場合がありますが、異常ではありません。メインユニット回路からの音です。
- メインユニット充電電池はニッケル水素電池を使用しています。充電を行っても作動しない等の状態が頻発におこるようであれば電池の寿命が考えられます。お近くの商品取扱いの販売店でお買い求めの上、電池交換を行って下さい。また交換した電池はリサイクル可能なニッケル水素電池ですので、販売店にお渡し下さい。ご不明な点がございましたら、弊社サービス部までご連絡下さい。

6. リモコンの電池交換

※リモコンは防水仕様ではありません。

- 本体が作動しなくなった、又はLEDが点灯しなくなった場合など電池の寿命が考えられますので停止後は電池交換を行って下さい。

◇電池交換の仕方



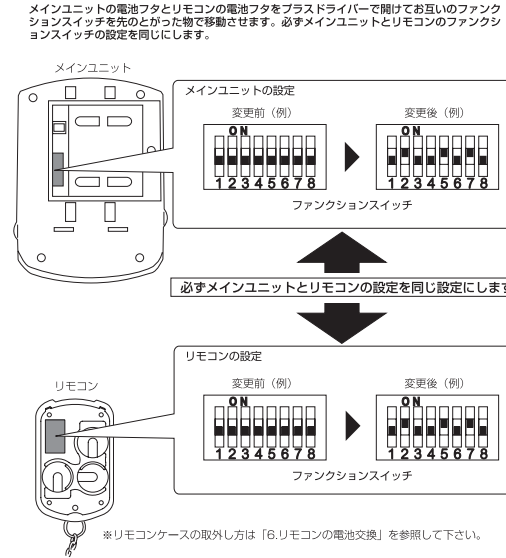
- リモコンの電池寿命(新品)の目安は1日2回使用した場合、約1年持ちます。
- ※使用環境、使用状態、自然放電等によって電池寿命は変化します。
- 出荷時はテスト用電池をセットしていますので電池寿命が1年以下の場合があります。
- 1個のリモコンでリチウムイオン電池LR44を3個使用しています。それ以外の電池は絶対に使用しないで下さい。

注意！
あまりビスを強く締め過ぎるとケースが壊れますので注意して下さい。
交換した電池はお子様の手の届かない所に保管して下さい。万一、お子様が電池を飲み込んだ場合は直ちに医師に連絡して下さい。

7. IDの変更

- 本製品は256通りの中からお客様で自由に選択してご使用することができます。
- 必ず動作確認後IDの変更を行って下さい。

◇ID変更の仕方



8. その他

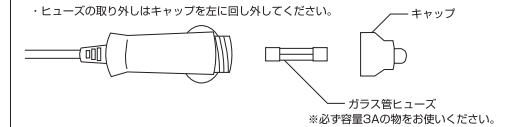
- ◆メインユニットの音量調整

- 警報等のアラーム音の大きさを3段階変更することができます。



- ◆12V専用シガープラグコードについて

- 12V専用シガープラグコードの内部にはガラス管ヒューズが使用されています。ヒューズ切れの際は指定の容量のガラス管ヒューズと交換してください。



- ◆本製品修理について

- 本製品の破損・点検・故障した場合、購入した販売店又はお近くの販売店へ修理の依頼・ご相談をください。
- 修理・点検依頼された場合、修理期間中は別商品の貸出し(代替品)などのサービスは行っておりません。
- 修理・点検期間中又は故障などによる動作不良における車輻盗難、車上狙い、車輻へのイタズラ等が発生しても、弊社では一切の責任は負いかねます。
- リモコンを破損した場合は、販売店へ修理のご依頼・ご相談をしてください。又、修理不能(水に濡らしたなど)もしくは紛失された場合は新たにリモコンのみをご購入頂き再度ID登録を行うことで、ご使用できます。
- リモコンご購入時の注意：防犯上、安全の為に保証書の提示等をお願いする事があります。

9. 仕様

◆メインユニット	◆リモコン
変換方式 スター(パナトロデザイン方式)	技術基準 300MHz帯
受信電波数 DC12V	送信電波数 ASK
定格入力電圧 DC4.8Vニッケル水素充電池	変調方式 変調方式
内蔵電池 -10℃~+60℃	動作温度範囲 -10℃~+60℃
動作温度範囲 待機時6mA(平均) 消費電流 警報時70mA(平均)	使用電池 LR44(3個)
ケース寸法 85.5(W)×23.5(H) ×11.0(D)mm	ケース寸法 85.5(W)×23.5(H) ×11.0(D)mm

- こんな時は、再度IDを設定又は変更をして下さい。

◇IDの設定がメインユニットとリモコンが違う場合は作動しませんが再度メインユニットとリモコンのファンクションスイッチ設定を確認して下さい。



エンジンスターター、ターボタイマー使用のお客様へ
セキュリティ作動中に充電状態になった場合(シガーソケットに電圧12V出力)セキュリティは解除されます。
エンジンスターターを動作させた場合、エンジン始動後、充電状態にならセキュリティが解除されます。
ターボタイマー作動中に充電状態になり、リモコン操作ができませんので、ターボタイマー終了(エンジン停止)後、セキュリティを動作させて下さい。